



はるあもり

●医療法人創和会広報誌はあもりに発行 医療法人創和会 理事長 重井文博
令和元年 11月1日発行



第62回全日本病院学会 in 岡山 ～多職種で参加して盛り上げよう!!～

創和会本部 理事長補佐 服部 新生
第62回全日本病院学会 in 岡山 事務局担当

2020年9月26日～27日の日程で、第62回全日本病院学会 in 岡山が開催されます。この学会は、民間の中小病院を主体に全国組織として設立された全日本病院協会（全日病）が年に1回、学術の研修の場として全国各地で開催しているもので、来年度は、全日病岡山県支部の担当で、岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）を中心に開催予定です。学会長は光生病院の佐能量雄理事長、実行委員長には重井文博理事長が就任し、主体となる実行コア会議メンバーとともにこれまで十数回の協議を重ね、準備にあたっています。

私も大会事務局員のひとりとして、各種会合に参加し、大会開催に向け奔走しています。

本年9月28日～29日には、第61回学会が名古屋の地で開催されましたが、岡山大会役員及び事務局により、次回開催に向けての大会の視察や岡山大会及び岡山の地のPRが行なわれました。会場での岡山の知名度は割と高く、多くの来場者から「ぜひ参加します」との嬉しい声もいただきました。このPRにおいては、しげい病院の学会参加者も積極的に協力してくれ、おかげで準備していたチラシ類も全て配布することができました。（詳しくはしげい病院 Facebook をご覧ください。）

岡山大会は、テーマを「令和時代の医療～持続可能へのチャレンジ!～」とし、地域医療構想や働き方改革、また来年4月に迎える診療報酬改定についての話題などを取り上げていく予定です。また、大会コンセプトは「スマート&コンパクト」とし、岡山の独自性を生かした、効率よく環境にも優しい大会を目指していく方針です。

この学会は、多職種が参加及び発表する場として、病院関係者にとっても大変有意義な機会となると思います。ぜひ多くの皆さんに会場にお越しただくとともに、多くの演題登録をお願い致します。



▲今年の学会では次回の岡山大会に向けてのPRを行ないました

栄養管理部 災害想定訓練を行ないました

しげい病院 栄養管理部 室長 秋山 恭子

9月10日(火)・17日(火)の部内勉強会において、災害想定訓練を行ないました。

平成26年に緊急時対策マニュアルを作成してから座学でマニュアルの内容や非常用食品の取り扱い方法、保管場所の確認などを勉強会で共有していましたが、翌年からはシナリオ仕立てでマニュアルを確認しながら実際に動きを付けるようになりました。

発災直後自身の安全を確保し、余震が収まったら全員集合して栄養士と調理師のリーダーを決定します。リーダーはマニュアルなどが入った非常持ち出しバッグを事務所の戸棚から取り出し、ア

クションカードやヘッドライトをスタッフに配布、アクションカードに準じた設備や機器の点検など初動を指示します。点検はチェックリストに沿って行なわれ、点検後再度集合して結果を報告するまでの流れを訓練しました。また、ランタンや懐中電灯、非常用食品やカセットコンロの置き場所を確認し、使い方の実演も行ないました。

災害想定訓練を初めて5年になりますが、年1回の実施でありスタッフの入れ替わりもあるため同じような内容で繰り返し実施しています。誰もが災害時であっても冷静に対応できるよう、今後も訓練内容の充実を図っていきたいと思います。



▲災害想定訓練の様子

しげい病院 Good job 月間のお知らせ

しげい病院 医療安全管理室 課長 佐伯 博子
医療安全対策委員会・リスクマネジメント部会

第2回 Good job 月間を、11月1日(金)～30日(土)で開催します。Good job とは直訳すると「よい仕事をした」という意味です。

なぜ、医療安全で Good job ? と思う方も、いらっしやと思います。以前の医療安全は、発生した事例に対策を立てるという考え方だったため、2重3重のチェックをしたり、事故防止対策の上に更に対策を重ねていました。しかし、近年は事例が発生する前に気付くことの方が大切であるという視点が主流です。インシデントを発見したら積極的に報告し、インシデントを発見してくれた人に感謝し、事例を共有しようという考え方です。すなわち Good job です。同じ部署の人には直接 Good job と伝えることができますが、他部署の人にはなかなか伝える機会がありません。自分の思

いをカードに書き伝えることは、一人ひとりが「まず自分を変える」ための一助となり、少しずつの積み重ねが組織全体の雰囲気を変えていきます。そこで、昨年度からカードを用いて、Good job だったことを感謝の気持ちをそえて伝える取り組みを行なっています。日常、接点が少ない職員同士でも、ポジティブな気持ちを Good job カードにこめて送りあうことで、褒める風土をつくります。そして、円滑なコミュニケーションは質の高い医療安全風土の構築に繋がります。

第1回は、放射線部が金賞を獲得、銀賞に外来部門、銅賞が検査健診部門でした。今年度も、多数のカードをお待ちしています。



消火技術訓練大会に出場しました

■しげい病院 看護部 合田 萌／臨床工学部 佐藤 和音



9月27日（金）、倉敷市消防局主催の消火技術訓練大会が開催され、消火器取扱競技に出場しました。この大会は、消火器を使った初期消火の技術を競い合い、万一の火災発生時において、迅速・的確で効果的な初期消火活動により、被害の軽減を図ることを目的に開催されています。8月下旬より、倉敷市消防署の方々や監督の俣野係長のご指導の下、練習に取り組みました。

初めは動きや言葉を覚えることで精一杯で、なかなかタイムを縮められませんでした。練習を重ね、タイムに満足いくようになってくると、規律や協調性などさらに良いものにしようと、1つの動作にも指先まで神経を通わす感覚で取り組みました。

本番は一発勝負のため、直前まで復習しました。

結果は、今までで一番早いタイムでしたが、細かい動きがそろわず3位でした。入賞できたことに嬉しさはあるものの、私たちにとって悔しさの残る結果でした。

しかしこの大会に参加し、「訓練を積んでいても思い通りにいくわけではないが、だからといって訓練を積んでいなければ、いざという時に迅速かつ的確に行動することはできない」ということを経験することができました。今回の経験を、今後活かしていきたいと思えます。

忙しい業務の中、日々の練習・大会に送り出してくださった部署の皆さま、熱心にご指導いただいた消防署の方々に心より感謝いたします。ありがとうございました。

■研究所附属病院 看護部 横田 美春／看護部 中上 智依理

10月2日（水）、岡山市消防教育訓練センターにて第38回消火技術訓練大会が開催され、消火器女子の部に出場しました。8月末よりコース造りから始め、本番に向け練習を積み重ねてきました。競技の中ではコースから足がはみ出してはいけないことや、流れ動作になってはいけないことなど多くの減点対象があり、初めはミスをしてしまうことも多くありました。

実際に消防教育訓練センターにて練習する機会もあり、自分たちの修正点を指導していただきました。そのため欠点を知ることができ改善に向けて練習を行なえました。

本番当日、開会式の際は雨・風ともにあり競技が行なえるのか不安な面もありました。しかし雨も風も止み、無事に競技を始めることができました。

会場にはたくさんのお出場チームがあり、緊張が高まりプレッシャーも感じました。しかし「大丈夫、練習通り頑張ろう」とお互いに声を掛け合うことで、少し緊張が解れました。そのおかげで自分たちのベストを尽くせたと思います。

私たちは本当の火事現場に遭遇したことはなく、実際に起きた際、どのように対応し

て良いのか分からず焦ってしまうと思います。消火器を使用し的確に消火することも重要になってきますが、今回の消防訓練を通して、自分がまずは冷静になって状況判断し行動を起こすことが必要であると学びました。敢闘賞という結果で悔いは残りますが、この経験を今後活かしていきたいです。

最後に、練習のため勤務を調整してくださった課長をはじめ、業務を抜けた際にフォローしてくださった病棟スタッフの方々、丁寧に指導してくださった監督に感謝しております。ありがとうございました。



この人紹介 !!

渡邊 真也先生をご紹介します！
6月から研究所附属病院に勤務されています。

Q 1. 医師になろうと思ったきっかけを教えてください。

そうですね、うちは父が医者をしていて、小さい頃からその姿を見ていました。特に意識していたわけではないのですが、生活の中で自然に医者を目指すようになりました。父から、医者のやりがいについて話を聞くこともあり、患者さんからとても感謝されるすごい仕事だなということに少しずつ気づいていったのだと思います。

その後、自分が少しずつ歳を重ねるに連れて、開業している父を見て、しっかりと家業を継承していかないといけないなという気持ちで本格的に目指すようになりました。

Q 2. その中で一番大変だったことはなんですか？

受験が大変だった記憶もありますが、やはり一番大変だったのは研修医時代でした。特に初期研修がとても大変でしたね。スーパーローテーションで様々な診療科をまわるのですが、私が最初に研修で診療したのは、がん患者さんばかりでした。その当時、なんと声をかけていいのかわからなかった場面があり、そのことを覚えています。

そのような経験の中で人の命を預かっている重責をとっても感じ、どうしていけばいいのかということを考えさせられました。

1番大変な時でしたが、1番大事な時期だったと思います。

Q 3. 休日の過ごし方について教えてください。

休日はそうですね、車で出かけるか、ネットサーフィンするかってぐらいですかね（苦笑）。あと週2～3回のペースでスポーツジムに行き、運動しています。



Q 4. ちなみに先生、車は何に乗られていますか？

車は外国製のセダンタイプの車に乗っています。以前は国産の車に乗っていたのですが、今の方が乗り心地も装備も居住性も抜群に良いです。

Q 5. 最後に今後の抱負について教えてください！

知っている方もいるとは思いますが、うちの实家は有床診療所で透析をしているところです。その家業を継承していくには、やはり透析について深く勉強していかなければならないと考えております。

将来、家業を継承していく時に備えて、まずは研究所附属病院で新しいことを学んでいき、地域医療に貢献できるように精一杯頑張りたいと思いますので、皆さまよろしくお願いたします。

第9回 トマト銀行 6時間リレーマラソン

研究所附属病院 リハビリテーション部 大西 秀典

10月6日(日)、トマト銀行6時間リレーマラソンが開催されました。天候は晴れ。日差しは強かったですが、爽やかな風が吹く絶好のマラソン



日和となりました。

今回は初心者の方も多く、最初は「本当に走りきれののかな…」と不安の声も上がってい



ました。しかし、始まってみると皆さん真剣な顔つきでコースを走り切り、出番が終わるとチームメイトをスタンドから応援するなど、時間を忘れるくらい楽しい時間でした。

それぞれがベストを尽くした結果、A・Bチーム共に無事6時間完走することができました！

チーム一丸となって走りきった喜びと、翌日まで残る筋肉痛は良い思い出となりました。

ノルディック・ウォークの紹介でテレビ出演しました

はぁもにい倉敷 カルチャー&フィットネスチーム チーフ 竹井 優太郎

9月28日(土) 11時から放送の「どようDEど〜よ」(テレビせとうち)に、はぁもにい倉敷から池田・黒瀬・竹井の3名がノルディック・ウォークの紹介のために出演しました。

最初に、ノルディックポールの種類や使い方、ノルディック・ウォークの歩き方などを、実際にポールを使いながらアナウンサーの橋本昌子さんに説明しました。また、ノルディックポールを使うことによって良い姿勢になり、歩幅も広がり、日ごろ使わない筋肉のひきしめにつながることも説明しました。

その後、阿知神社に撮影場所を移動し、坂道でのノルディック・ウォークの撮影をしました。坂道でノルディックポールを使った後では、「歩くスピードが速くなった」「姿勢が良くなった」などの感想を橋本アナウンサーよりいただきました。

今回の放送では、“歩くことに自信がない方でも、気軽にチャレンジすることができそう”とい

うメッセージを伝えることができたのではないかと思います。そして、自分自身もあらためてノルディック・ウォークについて勉強できました。

今後も、ノルディック・ウォークの普及に努めていきたいと思っています。



創和 会忘年会が変わります！

創和会本部 経営管理部長 横山 誠二

今年の創和会忘年会は12月10日（火）に、倉敷アイビースクエア エメラルドホールにて開催します。

そうです。昨年秋にオープンした新しいホールでの開催です。昨年までのフローラルコートの1.5倍のスペースに、エメラルド色のカーペットがポ

イントです。

また、料理については昨年までの食べ放題スタイルを改め、量よりも質に移行予定です。現在、忘年会委員会で詳細の検討を行なっておりますので、みなさんお楽しみに。

今年の創和会忘年会委員

しげい病院

- 有馬 里香（事務部）
- 山下 瑠夏（検査健診部）
- 大西 美咲（看護部）
- 山本 麻美（リハビリテーション部）

研究所附属病院

- 川北 奈美（看護部）
- 平田 知里（看護部）
- 藤雄万里衣（薬剤部）
- 小野志保奈（事務部）



▲今年はエメラルドホールで開催!!

福利厚生制度のお知らせ

～様々な施設が無料で利用できます～

創和会には、職員旅行・忘年会・永年勤続表彰・団体保険・財形預金など、様々な福利厚生施策があります。今回は職員の皆さんが利用できる福利厚生制度のうち、施設利用について紹介します。

■大原美術館等に無料で入館できます

医療法人創和会は、「OHARA サポーター倶楽部（後援会）」「岡山県博物館協議会」に加入しています。会員の特典として、岡山県内の美術館・博

物館の多くが、受付時に会員証を提示すると無料で入館できます。（無料入場人数制限あり。）

会員証は創和会で各1枚ずつあり、利用時には貸出・返却していただくシステムです。事前予約も可能ですので、利用を希望される際は、本部 植田・小田（内線 3344・3314）までお問い合わせください。



▲創和会で加入しています

岡山県博物館協議会参加施設（抜粋）

大原美術館	岡山城天守閣	倉敷市立自然史博物館
岡山県立美術館	池田動物園	岡山県立博物館
林原美術館	倉敷科学センター	笠岡市立カブトガニ博物館
倉敷市立美術館	日本郷土玩具館	川崎医科大学現代医学教育博物館
岡山市立オリエント美術館	招き猫美術館	岡山シティミュージアム
夢二郷土美術館	備前市立備前焼ミュージアム	ベティスミスジーンズミュージアム

その他多数

はあもにい倉敷公式 Instagram フォトコンテスト結果発表

はあもにい倉敷 カルチャー&フィットネスチーム 岡村 奈々枝

はあもにい倉敷の公式 Instagram を、もっとたくさんの方に知っていただきたい。そして、いつも受講いただいている受講生や講師の方々に喜んでいただきたく、初めての試みでフォトコンテストを開催いたしました。

9月中が応募期間ということで、健康フェスタもあり、56枚の写真が投稿されました。

ベリーダンス、プリザーブドフラワー、パステルアート、ポーセラーツなどなどたくさんの講座の受講生や講師からの写真の投稿があり、その中から、金賞・銀賞・銅賞の3枚の写真を厳選いたしましたのでご紹介させていただきます。



○**金賞**は @shirokitikun.335 様のトレーニングジムの講座で笑顔でトレーニングをする講座生の様子を撮った写真です。講座内の仲の良い雰囲気が伝わってくる温かい写真となっています。

○**銀賞**は @porcelarts_pecco 様の、健康フェスタで皆様が思い思いに作られたポーセラーツの作品の写真です。きれいに並べられているお皿には、一人一人の個性が溢れていて、どんな方が作ったのかなと想像が広がる写真です。

○**銅賞**は @yuri.e.mi 様の、パステルアートの作品と一緒に写る子供たちの、誇らしいような恥ずかしいような、何とも言えない可愛い表情と気持ちが伝わってくる写真です。



どの写真もそれぞれの講座の良さがでていて、素敵なお写真ばかりでした！次回はもっとたくさんの方にご参加いただければと思います。第二回はあもにい倉敷フォトコンテストにも、ご期待ください！

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

はあもにい倉敷は医療法人創和会グループの健康増進施設です。

■ ■ 催し物案内 ■ ■

しげい病院

健康講座

「たくましく生きるために歩き続ける
～こどもから高齢者まで、糖尿病・腎
臓病も含めた全ての足作りを～」

講師：内科医長 小畑さやか
糖尿病チーム

日時：11月16日(土) 9:00～11:30

会場：しげい病院 本館5階
かわせみホール

研究所附属病院

公開講座

「糖尿病予防！～健康寿命を意識し
て～」

講師：内科部長 荒木俊江

日時：11月16日(土) 14:00～15:00

会場：研究所附属病院
外来棟2F 多目的ルーム

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「もみいずる里山を楽しむ」

日時：11月17日(日) 10:00～12:00

会場：重井薬用植物園

優良職員表彰 おめでとうございます

10月17日(木) ホテルグランヴィア岡山にて、岡山県病院協会による優良職員表彰が行なわれ、創和会からは以下の7名が表彰されました。



編集後記

●去年から神戸JCT がややこしくなっています。3年前につけたカーナビを設定して岡山から宝塚へGO。ナビの案内に従って神戸JCTを直進すると、新名神高速へと進み、宝塚ではなく京都に連れて行かれます。新名神は神戸方面には行かないのか。なるほど！知らんし。だんだんと道から外れていく自転車コース。気がつくと画面上に道はなく、山の中を目的地とは違う方向に進む自転車コース、真新しい道路、見たこともない橋、ああッ！やってしまったと思ったころ、左手に見えてくるのが宝塚北SAになります。こちら西日本最大級の規模の宝塚北SAではトイレ、フードコート、土産物屋ともに大変充実した施設となっております。皆さまぜひ一度お越しください。

(MK)

●息子が1歳になりました。親バカなのでしょうが今が一番可愛いです。まだハイハイもせず匍匐前進のみで動き回るだけですがとても可愛いです。最近、歯が生えてきたので腕や足を噛まれます。内出血が起きるほど強く噛まれましたがそれでも可愛いです。たまに夜泣きが酷くて真夜中のドライブに出ます。車に乗るとすぐ寝るのに玄関の「ガチャ」の音で起きてしまいます。そんな所も可愛いです。気付けば1年。時間が経つのは早いですね。

(HT)



医療法人 創和会

生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所
〒710-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

重井医学研究所附属病院

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20
TEL086(423)2396

重井医学研究所

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8207

